

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第70回）議事概要

開催日及び場所	令和7年10月24日（金） 文部科学省会計課会議室及びリモートオンライン会議		
出席委員  （敬称略）	○委員長 堀川 義一（一般財団法人経済調査会監事）  ○委員 大谷 益世（公認会計士） 楠 茂樹（上智大学教授） 清水 光（弁護士） 松浦 亨（北海道大学病院客員診療教授）		
審議対象期間	第1四半期（令和7年4月1日～6月30日）		
個別審査案件	6件	○議 事  （1）令和7年度第1四半期の物品・役務等契約に係る審査  （2）個別審査案件  （3）その他	
一般競争入札方式	3件		
最低価格方式	2件		
最高価格方式	0件		
総合評価方式	1件		
指名競争入札方式	0件		
最低価格方式	0件		
総合評価方式	0件		
随意契約方式	3件		
企画競争	1件		
公募	0件		
競争性のない随意契約	1件		
不落随意契約	1件		
事前審査案件	0件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり		
委員会による意見の内容	審議の過程で検討や見直しをしていただきたいと申し上げた点につきましては適切に対応していただくこととし、全体としては問題なく処理されている。		

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>個別審査案件について（以下、審査順）</p> <p>① 「令和7年度高等学校卒業程度認定試験運営等業務 一式」  <b>【一般競争入札（最低価格落札方式）】</b>  （大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気候の影響もあると思うが、毎年のように再試験のため変更契約をしている。毎年のように発生するなら、それも見込んで当初契約を締結してもいいのではないか。</li> <li>・ 競争参加者数の推移について簡単に説明してほしい。令和7年度は4者参加しているが、何か努力した点はあるか。</li> <li>・ 予定価格の作成方法について説明してほしい。</li> <li>・ 今回受注した企業はこれまで実績がないが、その見積書が最も安価だったから採用している。いいことだが、業務履行の観点でリスクもあると思うが、どういう判断をしたのか。</li> <li>・ 経済的に進めており、良い案件だと思う。</li> </ul> <p>② 「国研情報システムの移行支援業務 一式」  <b>【一般競争入札（最低価格落札方式）】</b>  （国立教育政策研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移行支援業務とはどのような業務内容なのか。移行業務とは別に契約する必要があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度は天災による変更等はなかった。令和5年度は、令和7年度同様大雨の影響により、沖縄県において再試験を行った。仕様書には、再試験を実施する可能性があること、再試験を実施する場合当初契約に基づき変更契約を行うことがある旨を記載して当初契約を締結している。</li> <li>・ 令和5年度までは2者、令和6年度は3者、令和7年度は4者。声かけ等により応札者が増加した。</li> <li>・ 入札に参加した4者から徴取した参考見積書の金額を比較精査し、最も安価な見積書を採用した。その際、前年度の金額や見積書において過少に積算していないかも確認している。</li> <li>・ 仕様書に示している業務と見積書の項目を照らし合わせたところ問題がなく、単価の違いにより安価となっていた。他の事業での実績も確認し、問題ないと判断した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移行支援業務の内容は、移行のための所内職員及びシステム構築業者との各種連絡調整、データ移行等の技術的支援。連絡調整としては工程管理支援業務を行う別の事業者との調整も本契約には含まれている。  データ移行等の技術的支援の内容は、移行すべきデータを新システムに取り込めるよう形を整理するもの。  新旧システム間の違いを踏まえて、移行のために形を整える必要があるもので、両方必要である。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>一度目の説明会に参加した者が入札に参加しなかったのはなぜか。</li> <li>一度目の入札に参加しなかった者が再度公告で入札に参加したのはなぜか。</li> <li>再度公告について、公告から開札まで1週間しかないが、急ぐ理由があったのか。</li> <li>2回目のスケジュールがタイトなので、再度公告を見てから積算するのは困難で、参加しようがなかった可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取りを行ったところ、体制が整わなかったとのこと。</li> <li>国研から声がけをしたところ、人事異動により体制が整い応札可能となったとのこと。</li> <li>スケジュールの都合上、5月から開始する必要があった。今後は、同様のことが起きないように、会計法令に則り改善していきたい。</li> <li>ご指摘のとおり。今後は余裕をもってスケジュールをたてていきたい。</li> </ul>
<p>③ 「令和7年度ユネスコ未来共創プラットフォーム for 2030 ～UNESCOconnect～事業」 【随意契約（企画競争方式）】 （国際統括官付）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予定価格の妥当性をどう確認しているか。また、どのように積算しているのか。</li> <li>過去の類似事業に比べて事業規模が大きい理由は何か。</li> <li>事業規模が大きくなった分、新たな事業者は参入しにくい部分もあるのではないか。企画競争ということもあり、実績のある既存の事業者が強くなるため参入障壁があるのではないか。</li> <li>企画競争を採用しているのはなぜか。初めての事業ならノウハウがないという理由かと思うが、長年続けている事業であれば、国側で仕様書を書いて、会計法令に則り競争入札に付すべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>価格設定の根拠が合理的かどうか、市場実勢に照らして妥当であるかを確認している。例えば、旅費・謝金は国の基準に照らし合わせてかけ離れていないか、雑役務費・損益料は過去の類似案件の実績と比較して必要以上に高額なものが計上されていないか、といったことを確認している。 過去の実績等から、必要と思われる金額をそれぞれ見込んだうえで検討した。パーツ、パーツで必要なところは見積書を徴取した上で、積み上げた。</li> <li>昨年度までユネスコに関する事業3つをそれぞれ実施していたところ、政策的に統一感をだすため再編したことで規模が大きくなった。 それも影響して入札参加者が増えたのではないかと考えている。</li> <li>3つの事業をひとつにまとめたことで、政策的には統一性が出る。ただ、ご指摘も踏まえて、今後対応したい。</li> <li>本事業は、複数年を想定した事業であり、財務省に国庫債務として要求すべきものだが、財務省は、後年度負担が不明確な事業に対して、国庫債務の措置をなかなかしてくれないという実態がある。 そのため、企画競争でプロジェクトの全体像、</li> </ul>

<p>・企画競争は、会計法令に定めのない契約方式なので、今後も検討いただきたい。</p> <p>④ 「令和7年度日本語教員試験問題作成支援及び試験結果分析の改善に関する調査研究委託業務（資格の整備等による日本語教育の水準の維持向上に関する事業）」  <b>【随意契約（不落随意契約）】</b>  （総合教育政策局）</p> <p>・不落随意契約となった要因は何か。入札公告の時期がもう少し早ければ、あるいは事業規模を分けるなどの対応はできなかったのか。</p> <p>・予定価格に達しなかった者が不落随契の相手方となり得た理由は何か。</p> <p>・次年度以降の改善策をどう考えているか。</p> <p>⑤ 「先端技術を活用した HPSC 基盤強化事業 一式」  <b>【随意契約（競争性のない随意契約）】</b>  （スポーツ庁）</p> <p>・本委託事業は、本件の契約者しか実施できないのか。</p> <p>・長年同じ相手方と契約しているが、随意契約事前確認公募の対象になり得ないのか。</p>	<p>年度ごとの計画などを評価して採択先を決め、2年目以降、事業の進捗などについて評価をした上で、一定の評価を得られれば翌年度以降も当初計画に基づき単年度で契約を締結している。</p> <p>・承知した。</p> <p>・本試験実施に関連する調達が複数あり、予算の調整をしていて2月中旬の公告となった。また、事業の性質上、これ以上の分割は厳しいと考えている。</p> <p>・予定価格に達しなかった事業者から、企業努力により当初の仕様書のまま金額を抑えることができるという申出があり、契約に至った。例えば、仕様書の中で求めていた議事録の作成についてAIを活用して工数を削減する、などの提案をいただいた。</p> <p>・業務内容をより明確にするとともに、必要な予算の確保に努めていく。また、本事業実施にあたっては、試験問題の作成や日本語教育に知見がある事業者を想定していることから、事業者の開拓も進めていく。</p> <p>・事業遂行のためにいくつか必要要件があり、その要件を満たす者が他にいないため、競争性のない随意契約としている。</p> <p>・先程の必要条件により、現在は公募せずに随意契約しているが、ご指摘を踏まえて今後検討していきたい。</p>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格はどのように積算し、妥当性を確保しているか。</li> <li>・ 過去の類似事業において、年度ごとに事業規模が異なる理由は何か。</li> <li>・ 本契約の成果物について、具体的にどう記載されているか。</li> <li>・ 具体的に明文化することが重要なので、適切に対応していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考見積書に記載された物品等について、ホームページやパンフレット等により市場価格調査を行い、妥当であることを精査確認している。</li> <li>・ プロジェクト数の違いやコロナの影響、あらたに取組が増えたなどの理由により増減が生じている。</li> <li>・ 契約書の成果報告という項目に、委託業務成果報告書を提出する旨記載している。</li> <li>・ 承知した。</li> </ul>
<p>⑥ 「「2025 年日本国際博覧会」における出展及び運営等を通した訴求効果及び産学連携施策の展開手法等に関する調査分析業務 一式」 【一般競争入札（総合評価落札方式）】 （科学技術・学術政策局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 競争性確保のために事業を分割することは検討しなかったのか。</li> <li>・ 落札日から契約締結日まで相当の期間が空いている理由は何か。</li> <li>・ 事業内容、事業規模を踏まえると複数の応札がありそうだが、一者応札となった理由は何か。</li> <li>・ 変更契約の理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容はイベント運営と調査分析だが、イベント運営がメインの事業である。調査分析については、特別なスキルを持った事業者でなくても事業遂行は可能である。事業として、調査分析を別にせず、運営に含めた方が効率的に実施できると判断した。</li> <li>・ 契約相手方において、事務手続きがなかなか進まず、契約書類をまとめるのが遅くなった。国側においても、今後対応を改善していきたい。</li> <li>・ 契約額のうち、7 割ほどが雑役務費で、イベント運営に係るスタッフの経費、設備経費に消えてしまう。そのため、実態としてはほとんど利益がないことが原因だと考えている。 また、事業の特殊性も原因だと考えている。万博ほどの大規模なイベントの実績を有する事業者はほぼなく、リスクがあると考えたのではないか。 さらに、実際に事業者を確認したところ、時期と規模を踏まえると体制が確保できなかった、とのことだった。</li> <li>・ 契約後に発生したトラブルへの対応経費をあらたに積んで変更契約を締結した。 具体的には、万博の流通に関して問題が生じた。セキュリティチェックに時間を要したり置く場所がないということで、荷物が指定したとおりに到着せず、万博が指定する流通事業者が</li> </ul>

	近くに倉庫を契約して一旦そこに納品することとなった。
--	----------------------------